

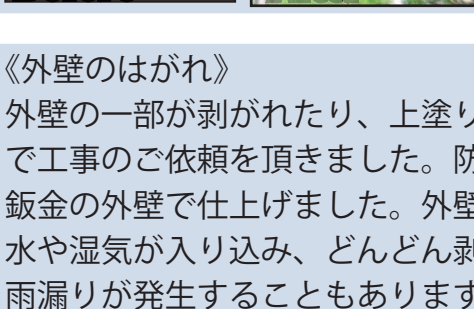
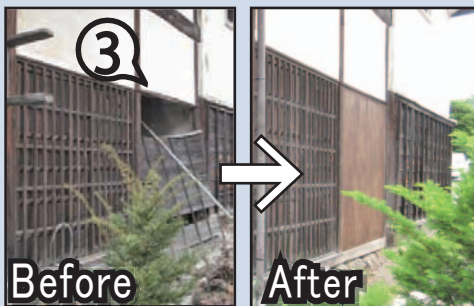
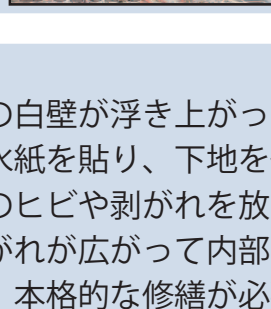
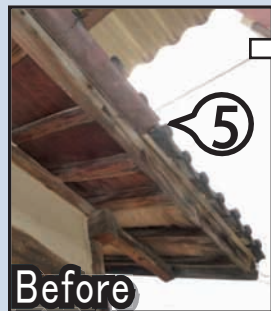
グッドウッドニュース

第334

2025 年 9 月 発行

(有)職人's CLUB 柳沢建築
編集者 YODA

雨に負けない家づくりいかがですか？ 早めの対応で工事も被害も最小限に！



《土蔵の外壁・土壁の修繕》

土蔵の一部が崩壊していたため、修繕工事をご依頼頂きました。こちらの土蔵では雨による崩壊の連鎖がおこっていました。

まず屋根瓦の一部が劣化してずれ落ち屋根下地が露出①→露出した屋根下地が雨に濡れて崩れ落ち→その穴から雨水が流入→流入した雨で濡れた鉢巻部分が崩れ落ち②→崩れ落ちた部分から雨が下へ流入→濡れた外腰壁格子が剥がれ落ち③ていました。また、屋根の崩壊から内部も雨漏りがして腐食④し、側面の雨樋も劣化で落ちて⑤しまい、そこから雨水が流れ、雨水で濡れてしまった土壁も一部剥がれ落ちて⑥していました。

今回の修繕工事は、左官職人の熟練の技が求められる作業となります。土壁修繕は使用する土を選び、藁(ワ)と混ぜて発酵させるところから始まります。鉢巻部分も土壁も、丁寧に丁寧に乾燥具合を見ながら、何度も重ねて施工いたしました。外壁の崩壊は、通行人に接触したり交通の妨げになるなどトラブルに発展する恐れがあります。できるだけ小さいうちに早く対処することで工事の規模も小さく済ませることができます。

《外壁のはがれ》

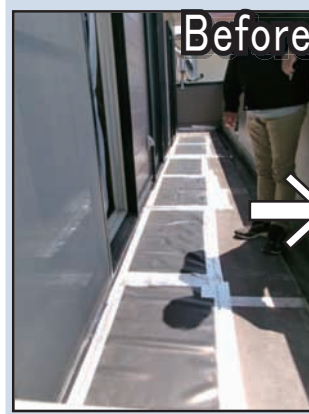
外壁の一部が剥がれたり、上塗りの白壁が浮き上がっていましたので工事をご依頼を頂きました。防水紙を貼り、下地を作って丈夫な鉄金の外壁で仕上げました。外壁のヒビや剥がれを放置すると、雨水や湿気が入り込み、どんどん剥がれが広がって内部を腐食したり、雨漏りが発生することもあります。本格的な修繕が必要になって修繕費が高額になる前に、ヒビ割れや崩壊が小さい状態でメンテナンスすることが工事を最小限に抑えられる対策となります。



《ベランダの防水工事》

ベランダから雨漏りがしていたため工事をご依頼を頂きました。お客様が設置された防水シートはそのまま残し、その上に下地を施工してから、細部まで丁寧に FRP 防水を塗り重ねました。

雨風・紫外線・温度差などにより劣化したベランダの雨漏りは、お家の木材の腐食やシロアリの発生を引き起こす原因となります。お住まいの骨組みまで被害が拡大する前に、ベランダも早めの対処がお勧めです。



住まいに関する新築・リフォーム工事承ります！お気軽にご相談ください！

間違えがし答え：①女の子のお面 ②抽選器の形 ③おじさんのベル ④お母さんの手 ⑤クマのぬいぐるみ

↓↓ 詳しくは、「職人's CLUB」で検索！！

しよくにんずくらぶ

検索



ホームページ



YouTubeチャンネル



Instagram

(有)職人's CLUB 柳沢建築

〒385-0034 佐久市平賀 942-2

代表 柳沢 守男

TEL: 0267-62-6723 / FAX: 0267-63-5600 / URL: www.sclub.jp

E-Mail: snc-y@dia.janis.or.jp

